

# 電気設備工事特記仕様書

工 事 件 名  
工 事 場 所  
建 物 概 要

## 建築図の通り

## 工事概要

水防センター新築に伴い電気設備工事の施工を行う。

工 事 項 目

- |                  |        |
|------------------|--------|
| 1. 電灯設備工事        | 新設 1 式 |
| 1-1. 電灯幹線設備工事    |        |
| 1-2. 電灯分岐設備工事    |        |
| 1-3. コンセント分岐設備工事 |        |
| 2. 弱電設備工事        | 新設 1 式 |
| 3. 太陽光発電設備工事     | 新設 1 式 |

## 一般事項

1. 本工事は設計図に依る他東京都電気設備工事標準仕様書並びに工事監督員の指示に従い施工する。
2. 本工事に関係ある法令、条例、規則等はこれに従い必要な届出手続きは受注者が代行しこれらに要する費用は受注者の負担とする。
3. 図面等に記載が無くとも設計主旨上・機能上必要とされるものについては、監督員と協議の上、施工すること。
4. 施工に当って監督員の指示に従い施工図、機器製作図、工事写真、その他書類の提出を行う。
5. 本工事で使用する材料は原則としてノンアスベストとすること。また代替品を使用せざるを得ない場合には、監督員と協議の上施工のこと。

工事説明及び  
特記事項

- 1-1. 電灯幹線設備工事
  - 1) 東京電力より低圧地中引込供給を受け、引込用ハンドホールより引込開閉器を経て電灯分電盤までの配線、機器取付を行う。
  - 2) 施工前に引込点その他について東京電力と打合せること。

- 1-2, 1-3. 電灯分岐、コンセント分岐設備工事

1. 電灯分電盤より各電灯コンセント等への配線、配管、器具取付調整等一切を行う。
2. 配線は原則としてケーブル配線工事とし、立上り下部は、PF管にて保護すること。
3. 配線器具類は原則として運用形を使用し表面プレートは新金属製とする。
4. 器具、機器類の取付に当っては適合する大きさの位置ボックス、裏ボックスを必要に応じて設置する。  
又、屋外に設置するブルボックスは高耐候性・耐衝撃性を有する樹脂製とする。
5. LED照明器具の金属部分及び金属製ボックス等は接地を施すこと。

- ## 2. 弱電設備工事

- 1) バリアフリートイレにトイレ呼出設備を設置し、ホール2にブザー・表示灯を、集会室に警報機を設置する。
- 2) 防犯カメラ用空配管を敷設する。空配管には呼び線として1.2φ樹脂被覆鉄線を挿入する。

- ### 3. 太陽光発電設備工事

- 1) 太陽光発電設備の設置・試験・機器間配線の一切を行う。
- 2) 太陽光発電設備は蓄電システムを有するものとする。
- 3) 太陽光発電設備工事における配線はメーカーの仕様に適合すること。
- 4) モジュールの取付架台は建築工事とする。
- 5) 屋根面に取付する配管配線・機器等の金具は屋根の仕様に適合するものを選定すること。

本工事に使用する資材は、下記メーカーより選定又は監督員の承諾を得たものとする。

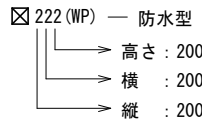
電線管・付属品	ハナツチン	古河電工	丸一鋼管	他JIS規格品
電線・ケーブル類	矢崎総業	古河電業工業	フジ管	他JIS規格品
分電盤類	ハナツチン	日東工業	三菱電機	
照明器具	ハナツチン	東芝ライテック	三菱電機照明	
屋外灯	ハナツチン	東芝ライテック	GSユアサ	
配線器具類	ハナツチン	東芝ライテック	神保	
太陽光発電	ハナツチン	京市		

5. 本建物の前面道路には配電線路がないため、東京電力パワーグリッド㈱による地中引込線方式による配線・配管工事が発生するため電気申込みの協議は早目に申込むこと。設計段階の事前協議番号:322471(2023年5月10日)
6. 金属板張りの木造の造営物に電気機械器具、金属製の電線管等を施設する場合は、金属板と電氣的に接続しないよう絶縁すること。
7. 金属板張りの木造の造営物を貫通する部分は、PF管等により金属板と絶縁すること。
8. 本工事は、「区市町村公共施設等への再生可能エネルギー導入促進事業助成金」の交付を受ける予定であるため、申請に必要な図面の作成協力及び仕様書等の資料提供をすること。
9. 太陽光発電設備で取付したモジュール電池(全数)、パワコン、蓄電池等の型式及びシリアルNoは、写真撮影にてデータを保存しておくこと。
10. 太陽光発電設備の機器の保証書にはJAMNoを必ず記載すること。
11. 法第32条に適合する工法で施工を行うこと。
12. 太陽光発電システムを構成するモジュールが、一般財団法人電気安全環境研究所(JET)が定めるJETPvM認証のうち、モジュール認証を受けたものであること若しくは同等以上であること又は国際電気標準会議(IEC)のIECEE-PV-FCS制度に加盟する認証機関による太陽電池モジュール認証を受けたものであること(認証の有効期限内の製品に限る)また、パワーコンディショナにおいてはCISPR11第6.2版の基準に適合したものであること。
13. 天井断熱材を敷き込む部分に埋込照明を施設する時は、箱型に天井下地を組む等ダウンライトに直接断熱材が触れないよう施工すること。
14. 屋外で金物類を使用する場合は全てステンレスか溶融亜鉛メッキ製とする。
15. シーリング剤は全て変性シリコン製とする。
16. 屋外に設置する盤、ボックス類にはその底面か側面に配管を接続し上面には接続しないこと。
17. この工事で必要な申請関係、諸費用は全てこの工事費にて見込むこと。
18. 監督員の指定する施工図は施工前に必ず提出し承諾を受ける。
19. 機器、配線器具(スイッチ、コンセント等)の取付高さは監督員の承諾を受けること。
20. 他関連工事の全ての電気負荷を熟知し施工に臨むこと。

## 凡 例

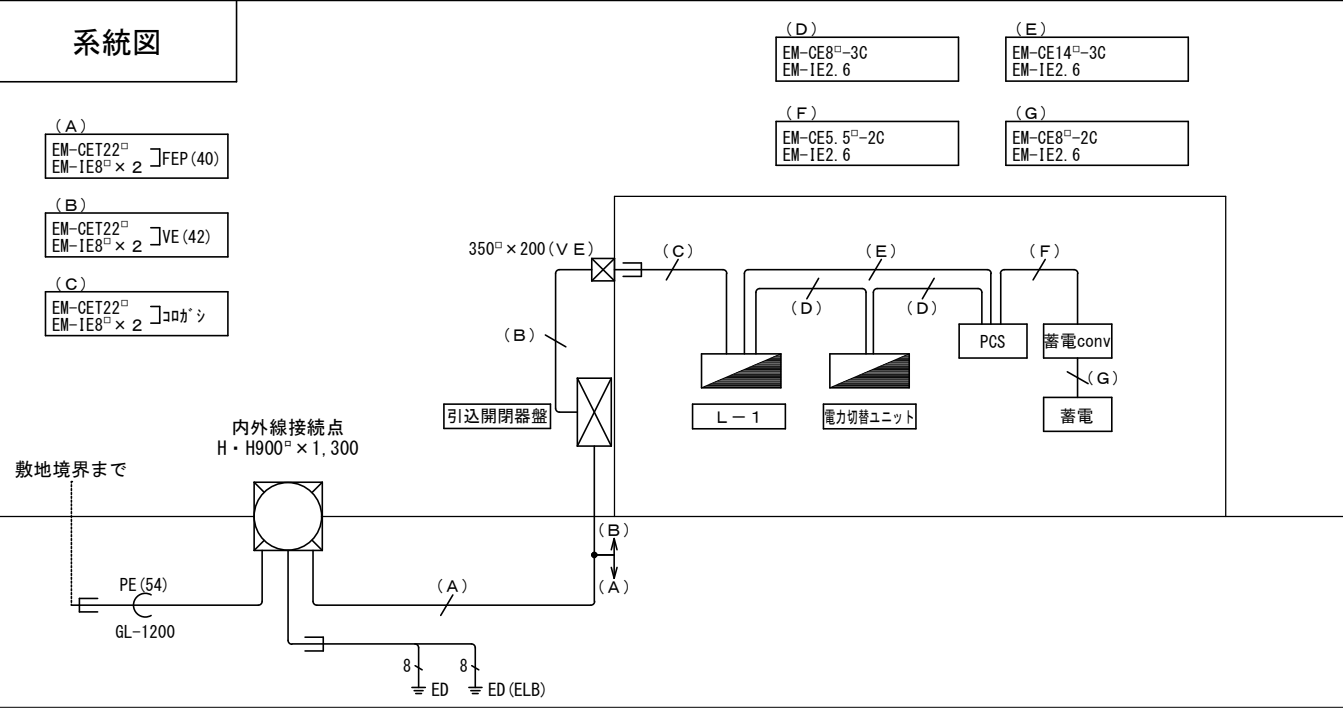
記 号	名 称	備 考
	照明器具(天井付) 一体型LEDタイプ	位置ボックス使用
	照明器具(天井付) 一体型LEDタイプ	位置ボックスなし
	照明器具(壁付) LEDタイプ	位置ボックス使用
	シーリングライト(天井付)LEDタイプ	位置ボックス使用
	ブラケット、スポットライト(LED電球)	位置ボックス使用
	高輝度蓄光式誘導標識	消防認定品
	スイッチ 1P 15A×2	金属プレート付
	スイッチ 1P 15A×3	金属プレート付
	スイッチ 1P 15A×1	防水埋込（露出ボックス取付）
	スイッチ 3W 15A×1	防水埋込（露出ボックス取付）
	スイッチ 1P 15A×1 + 確認表示灯	金属プレート付
	スイッチ 1P 15A×2 + 確認表示灯	金属プレート付
	スイッチ 1P 15A×3 + 確認表示灯	金属プレート付
	自動点滅器 100V 3A	
	防雨入線カバー付	
	コンセント 2P15A×1	金属プレート付
	コンセント 2P15A×2	金属プレート付
	コンセント 2P15A×1 接地極, 接地端子付	金属プレート付
	コンセント 2P15A×2 接地極, 接地端子付	金属プレート付
	コンセント 2P20A×1 接地極付	金属プレート付
	防雨コンセント 2P15A×2 接地極付 (カバー付鍵付)	参考型番: パナソニックWK4702同等品
	ノズルプレート付	
	引込開閉器盤	
	電灯分電盤	
	接地 D種	
	引込鋼管柱	
	ハンドホール	
	分岐回路番号	
イ. ロ. ハ	点滅器符号	
(A) ~ (H)	照明器具符号	
□ ○	ジャンクション・ジョイントボックス類	
— — — — —	天井配線	いんべい、埋込
— — — — —	天井、壁配線	露出
— — — — —	地中埋設配線	地中
— — — — —	床配線	いんべい、埋込
— G —	空配管	呼び鉄線1.2mm(樹脂被覆鉄線等)
	立上り、立下げ電路	

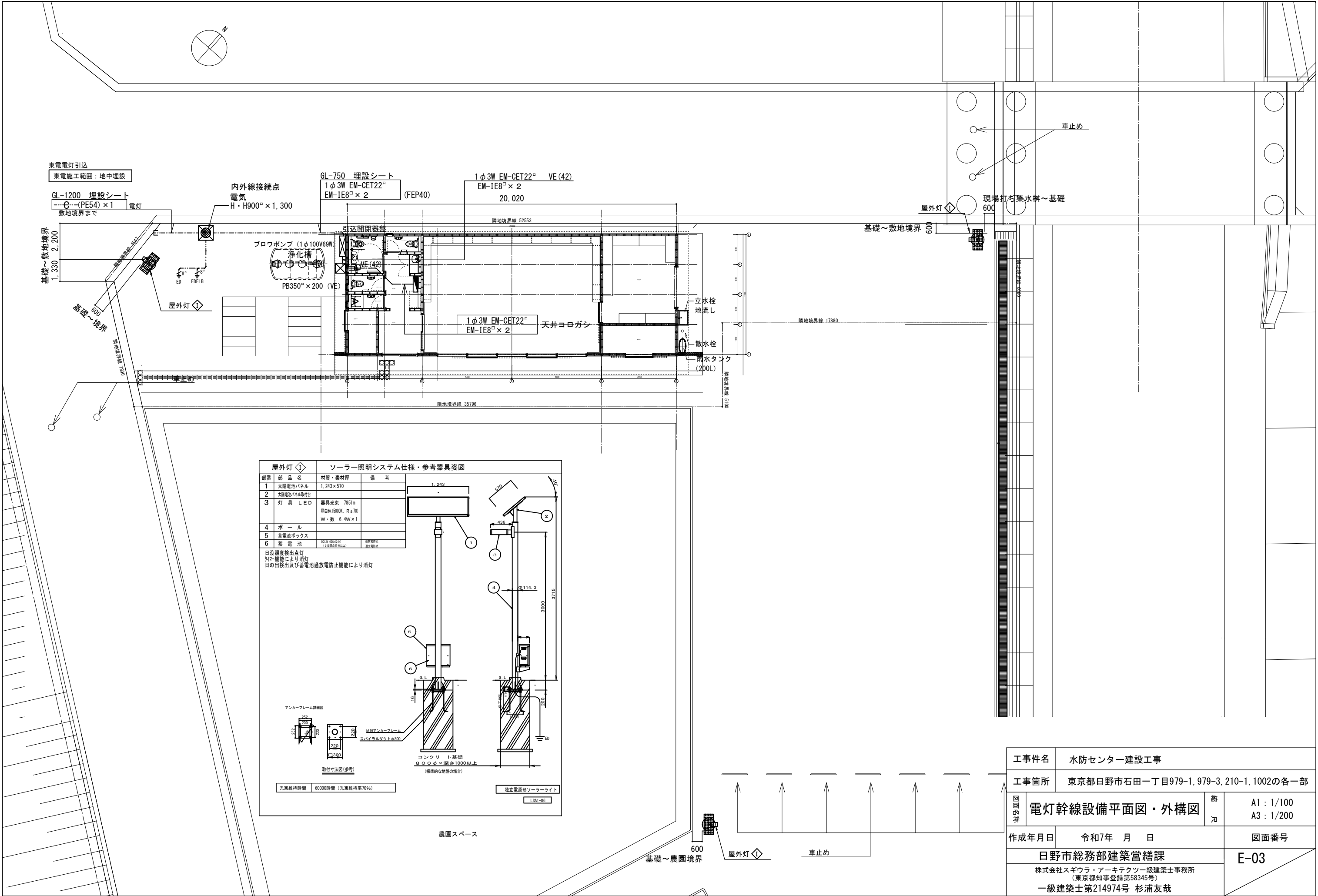
(注記) フルホックスのサイズは下記による。



強電用(金属製フット)は接地端子座による接地端子を設ける。

工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部	
図面内容	特記仕様書		備考 NO SCALE
作成年月日	令和7年 月 日		図面番号
日野市総務部建築営繕課 株式会社スギウラ・アーキテクトゥー級建築士事務所 （東京都知事登録第58345号） 一級建築士第214974号 杉浦友哉			E-01 <div></div>





屋外灯

部番	品名	材質・素材厚	備考
1	太陽電池パネル	1,243×570	
2	太陽電池パネル取付台		
3	灯具 LED	器具光束 785lm 昼白色(5000K、Ra70) W・数 6.4W×1	
4	ポール		
5	蓄電池ボックス		
6	蓄電池	100V 60Ah(15kg) (10 日間使用可能以上)	過充電防止 過放電防止

日没照度検出点灯  
94℃機能により消灯  
日の出検出及び蓄電池過放電防止機能により消灯

ソーラー照明システム仕様・参考器具姿図

アンカーフレーム詳細図

取付寸法図(参考)











光東維持時間 60000時間 (光東維持率70%)

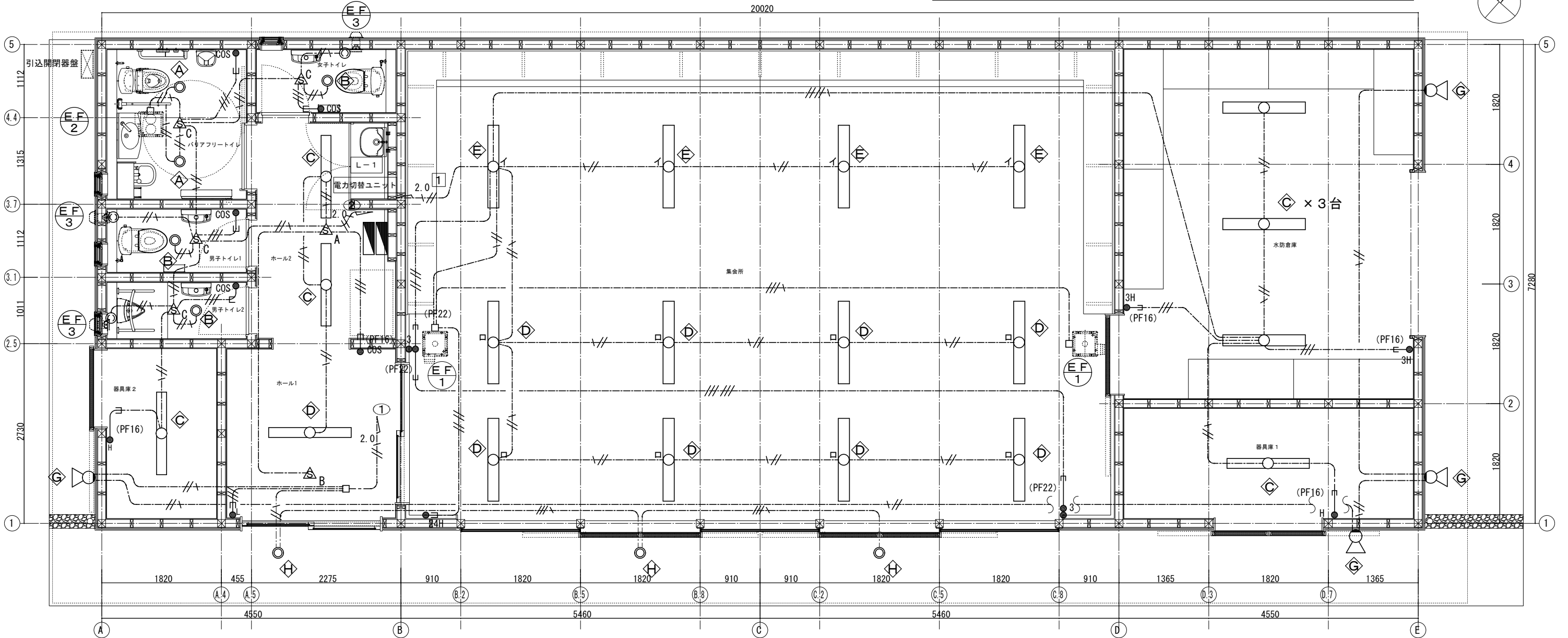
独立電源形ソーラーライト LSA1-06

工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部	
図面名称	電灯幹線設備平面図・外構図		縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200
作成年月日	令和7年 月 日		図面番号
日野市総務部建築営繕課			E-03
株式会社スギウラ・アーキテクツ・級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号)			
一級建築士第214974号 杉浦友哉			

照明器具姿図

A LEDダウンライト200形		公共施設型番 : LRS1-17	B LEDダウンライト100形		公共施設型番 : LRS1-08
C 直付型40形 W150		公共施設型番 : LSS9-4-23	D 直付型40形 W150		公共施設型番 : LSS9-4-48
E 直付型40形 W150		公共施設型番 : LSS9-4-65	G LEDスポットライト 80形電球1灯器具相当		公共施設型番 : LSS9-4-23
H LED軒下用ダウンライト 60形電球1灯器具相当		公共施設型番 : LSS9-4-48	パナソニック LGWC47020CE1相当	パナソニック LRDC1143NLE1相当	公共施設型番 : LSS9-4-65





記 号	名 称	備 考
	新設 電灯分電盤	
	ダウンライト	照明器具姿図参照
	直付型照明器具	照明器具姿図参照
	LEDスポットライト	照明器具姿図参照
	埋込スイッチ	1P15A×1・3W×1 (位置表示付き) 0. BOX (中四角浅型)
	埋込スイッチ	3W×2・3W×1 0. BOX (中四角浅型)
	埋込スイッチ	1P15A×1 (パイロットスイッチ) 0. BOX (中四角浅型)
	24時間換気スイッチ	付属スイッチ取付 0. BOX (中四角浅型)
	埋込コンセント	2P15A (ｽｽﾞﾐ) × 1 (金属プレート付き) 0. BOX (中四角浅型)
	新設換気扇	(機械設備)



注記 (使用する電線、ケーブルはEMエコケーブルを使用のこと)  
特記なき配線配管は下記による。(二重天井内は、ケーブルコログシとする)

- EM-EEF 1.6-2C
- EM-EEF 1.6-3C (1芯アース)
- EM-EEF 1.6-3C
- EM-EEF 1.6-2C×2
- EM-EEF 1.6-2C×2 (1芯アース)
- EM-EEF 1.6-2C+1.6-3C (1芯アース)
- EM-EEF 1.6-3C×2
- EM-EEF 2.0-3C (1芯アース)
- 配管にて保護ヶ所

保護管  
PF (16)  
PF (22)  
PF (22)  
PF (22)  
PF (22)  
PF (22)  
PF (22)

	A	天井埋込熱線センサー (親機)	(パナソニック WTK24818) 相当品	0. BOX (中四角深型)
	B	天井埋込熱線センサー (子機)	(パナソニック WTK2910K) 相当品	0. BOX (中四角深型)
	C	天井埋込熱線センサー (換気扇用)	(パナソニック WTK2064) 相当品	0. BOX (中四角深型)
	COS	埋込操作ユニット1回路用 (自動一連続一切)	(パナソニック WTC5820W) 相当品	0. BOX (中四角浅型)
(上記は参考品番とし、承諾図により確定する。)				

工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部	
図面 名称	電灯設備平面図		縮 尺
			A1 : 1/30 A3 : 1/60
作成年月日		令和7年 月 日	図面番号
日野市総務部建築営繕課			E-04
株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号)			
一級建築士第214974号 杉浦友哉			

記 号	名 称	備 考
■	新設 電灯分電盤	
②2E	埋込コンセント	2P15A×2E付 0, BOX (中四角浅型)
②2EET	埋込コンセント	2P15A×2E付、E端子付 0, BOX (中四角浅型)
②EET	埋込コンセント	2P15A×1E付、E端子付 0, BOX (中四角浅型)
②G	埋込コンセント	2P15A (対止め) ×2E付、E端子付
■WP	防雨型ジョイントボックス	パナソニック WJ4611B相当品

注記 (使用する電線、ケーブルはEMエコケーブルを使用のこと)

特記なき配線配管は下記による。(二重天井内は、ケーブルコログシとする)

-----//-----

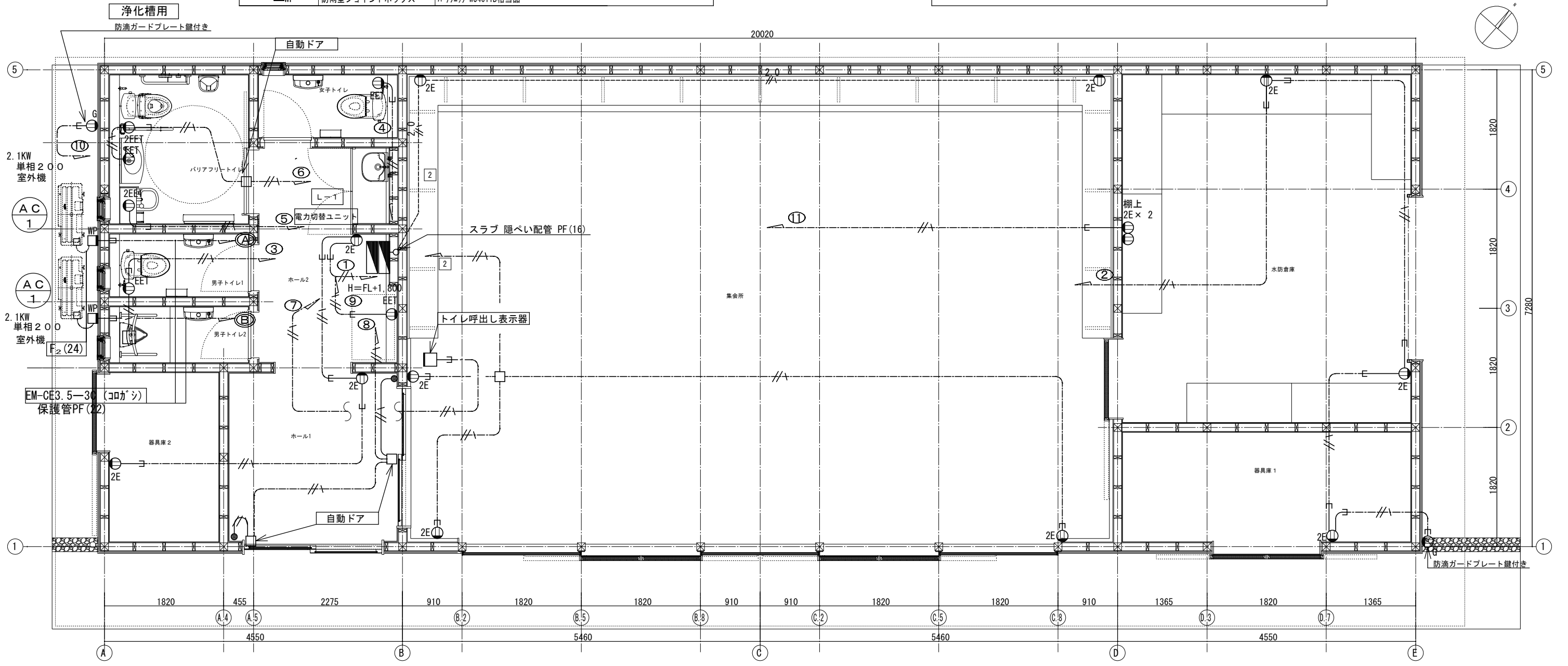
EM-EEF 2.0-3C (1芯アース)

-----//-----

配管にて (PF22) 保護ヶ所

-----2.0//-----

EM-IE 2.0×3C (1芯アース) PF (16) スラブ埋設









工事件名		水防センター建設工事			
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部			
図面名称	コンセント設備平面図		階	A1 : 1/30	
			面	A3 : 1/60	
作成年月日		令和7年 月 日		図面番号	
日野市総務部建築営繕課					E-05
株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号)					
一級建築士第214974号 杉浦友哉					

トイレ呼出し

記 号	名 称	備 考
	1窓用呼出表示器	姿図参照
	ブザー付廊下灯	姿図参照
	復旧ボタン	姿図参照
	呼出ボタン(引きひも付)	姿図参照

## 防犯カメラ（空配管）

記 号	名 称	備 考
	記録媒体	別途工事
	電源ユニット	別途工事
	0. BOX浅型（天井伏）＋ノズルプレート	
	0. BOX浅型（壁伏）＋ノズルプレート	
 WP	0. BOX浅型（防水型壁露出）＋カバー	
	位置ボックス＋ブランクプレート	天井伏

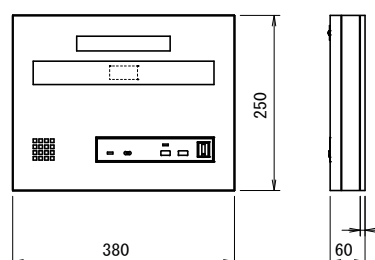
トイレ呼出し姿図

※ 機器の設置位置はJIS S0026 を満たすこと。

CN

1窓用呼出表示器

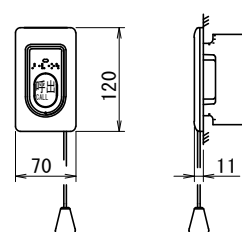
CBN-10 (同等品)



電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形状	壁取付形
材質	SPCC t1.2
窓数	5窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

呼出ボタン(引きひも付)

NBR-7HWA-TC110 (同等品)

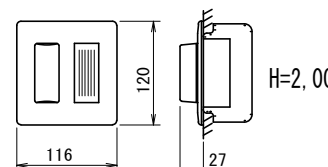


形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
備考	引きひも式、押ボタン式両用 点字案内文有

O

プザー付廊下灯

NR-BZLB27 (同等品)

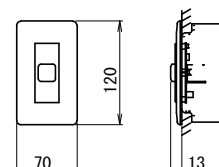


形状	埋込形 (JIS2個用スイッチボックス)
材質	樹脂
表示灯	赤色
備考	

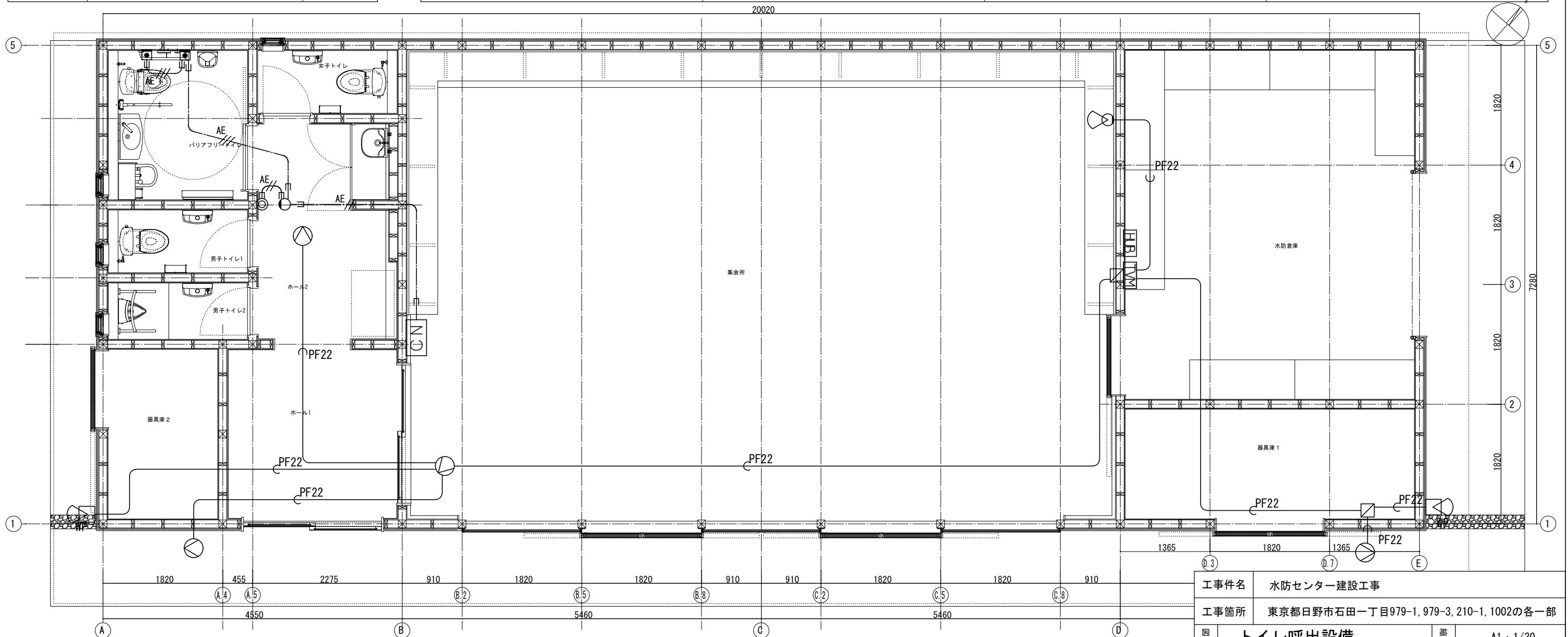
◎

復旧ボタン

NBR-2A-C (同等品)





形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	ABS樹脂



注記 (使用する電線、ケーブルはEMエコケーブルを使用のこと)

特記なき配線配管は下記による。(二重天井内は、ケーブルコロガシとする)

	EM-AE0.9-2C (PF16)	トイレ呼出し設備
	EM-AE0.9-3C (PF16)	トイレ呼出し設備

工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部	
図面 名称	トイレ呼出設備 防犯空配管設備平面図		階 尺 A1 : 1/30 A3 : 1/60
	作成年月日	令和7年 月 日	図面番号
日野市総務部建築営繕課			E-06
株式会社スギウ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉			

太陽光発電設備工事 特記仕様書（参考）

1. 一般事項

1. 1 適用範囲

本仕様書は、日野市水防センター建設工事における系統連系用太陽光発電システムについて適用する。

1. 2 適用規格・法規等

本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとする。

- (1) 労働基準法
- (2) 労働安全衛生法
- (3) 電気事業法
- (4) 電気設備技術基準
- (5) 電気工事士法
- (6) 消防関係法規
- (7) 電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン
- (8) 日本産業規格（JIS）
- (9) 日本電線工業会規格（JCS）
- (10) 日本電気工業会規格（JEM）
- (11) 日本電気規格調査会標準規格（JEC）
- (12) 内線規程
- (13) 系統連系規程

2. システム概要

2. 1 設備の概要

名称 : 太陽光発電設備工事  
連系する電力系統 : 低圧連系  
発電設備の種類 : 太陽電池発電所  
設備容量 : 太陽電池容量 4.7kW以上  
パワーステーション 6.0kW  
リチウムイオン蓄電池 6.3kWh

2. 2 システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池架台、系統連系保護機能を備えたパワーステーション

（本体、コンバータ、ネットリモン）、リチウムイオン蓄電池ユニット、電力切替ユニット、計測装置、表示装置等より構成する。

- 太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生。
- パワーステーションは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、電力系統に供給する。
- 系統連系保護機能により、パワーステーション及び系統の異常には連系を遮断する。
- 平常時は太陽電池の発電電力と蓄電池の放電電力を構内の負荷に供給する。  
太陽電池の発電電力が負荷消費を上回る場合は、余剰分を蓄電池に充電する。  
太陽電池の発電電力が負荷消費を下回る場合は、不足分を蓄電池から放電する。  
設定あるいは操作により、商用電源から蓄電池への充電も可能となる。
- 停電時は太陽電池モジュールとパワーステーションが連携し、電力切替ユニットを介してバックアップ回路へ電力供給する。また昼間に太陽光発電による余剰電力が生じた場合、蓄電池に充電し夜間等に蓄電池から放電することで昼夜ともに給電が可能とする。
- 電力切替ユニットは、停電時にバックアップ回路への電力供給を自動で商用電源側から自立出力側に切り替える。復電時は商用電源側に切り替える。
- 運転データ等は計測装置により収集する。  
（電力会社、逆潮流の有無、太陽光の出力合計によっては、太陽光遮断出力制御対応機能が必要となる場合もある）

2. 3 運転方式

1 連系運転

太陽光発電により得られた直流電力を交流電力に変換し、その電力は負荷電力に使用する。  
また、太陽光発電の不足分を蓄電池で補い、下記のモードによりその動作を変更することが可能。

◎タイマーモード

あらかじめタイマー設定された時間帯に蓄電池への充電、蓄電池からの放電を行う。  
充電時、太陽光発電による不足分は系統から補う。  
放電時、太陽光発電による放電量不足分は蓄電池から補う。

◎自家消費モード

太陽光発電の余剰分で蓄電池に充電し、太陽光発電の不足時に蓄電池の放電により電力不足分を補う。

2 自立運転

停電時は系統電源から分離し、自立運転により太陽光発電と蓄電池からバックアップ回路へ電力供給を行う。  
復旧にあたっては手動で切替を行うこととする。（自動復旧も可能）

2. 4 系統連系保護機能

本システムにおける連系保護機能装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとする。  
電気設備技術基準解釈による保護継電器の種類・設置相数・検出場所を表-1に示す。

表-1

保護継電器の種類	検出場所
(1) 過電圧継電器（OVR）	インバータ出力点など 低圧回路の検出可能な場所
(2) 不足電圧継電器（UVR）	
(3) 周波数上昇継電器（OFR）	
(4) 周波数低下継電器（UFR）	
(5) 単独運転検出機能（受動・能動）	
(6) 逆電力継電器（RPR）※	受電点

※本継電器は、電力会社と協議の上、必要と認められた場合設置

2. 5 納入機器範囲

納入機器は表-2に示す通りとする。

表-2

NO	機器名	仕 様	数 量	備 考
1.	太陽電池モジュール	単結晶シリコン太陽電池	10枚	パワーステーション同梱 30Aタイプ・特定負荷ブレーカ付
2.	太陽電池架台	横置	1式	
3.	パワーステーション	屋側6.0kW	1台	
4.	蓄電池用コンバータ	屋側	1台	
5.	リチウムイオン蓄電池ユニット	屋側6.3kWh	1台	
6.	ネットリモン	屋内	1台	
7.	電力切替ユニット（単相3線用）	屋内	1台	
8.	小型計測装置	屋内	1式	
9.	表示装置	屋内	1台	
10.	気象信号変換器箱	屋外	1台	
11.	日射計	屋外	1台	
12.	気温計	测温抵抗体	1台	

3. 機器仕様

3. 1 太陽電池モジュール

種類 : 単結晶シリコン太陽電池  
容量 : 470W  
標準使用状態 : 周囲温度-40℃～+40℃  
外形寸法 : 図面参照  
出力特性 : 表-3参照

太陽電池モジュール電気出力特性表（参考値）

表-3 特性表

項 目		単 位	特 性 値
最 大 出 力	P <sub>m</sub>	W	470.0
最大出力動作電圧	V <sub>pm</sub>	V	34.76
最大出力動作電流	I <sub>pm</sub>	A	13.53
開 放 電 圧	V <sub>oc</sub>	V	40.17
短 絡 電 流	I <sub>sc</sub>	A	14.33

条件 : AM1.5 全天日射基準太陽光  
放射照度 1000W/m<sup>2</sup> モジュール温度 25℃

3. 2 太陽電池架台

構造 : 陸屋根、傾斜屋根、他設置場所に適合する構造とする  
材質 : 一般構造用鋼 溶融亜鉛メッキ処理同等品とする  
(高耐食性メッキ鋼板も含む)  
強度 : 関係法規に基づき必要な強度を有するものとする。

3. 3 パワーステーション

DCバス入出力

入力電圧範囲 : DC0～450V  
入出力最大電力 : 6.7kW（放電時） 6.0kW（充電時）  
入出力最大電流 : 20.0A

太陽電池入力

使用入力電圧範囲 : DC40～450V  
定格入力電力 : 9.0kW/4回路  
入力最大電流 : DC13A/1入力 DC52A/4入力

系統連系入出力

定格入出力電圧 : AC101/202V 50/60Hz  
接続相数 : 単相3線式 2W+N+PE（電気方式 単相2線）  
定格出力有効電力 : 6.0kW（力率0.95時） 6.0kW（力率1.00時）  
定格出力皮相電力 : 6.3kVA（力率0.95時） 6.0kVA（力率1.00時）

自立出力

定格出力電圧 : AC101V±6V/AC202V±12V 50/60Hz  
接続相数 : 単相3線2W+N（N相接地）  
定格出力皮相電力 : 6.0kVA

その他

使用周囲温度 : -20℃～+50℃  
保護等級 : IP55（配線部及び水抜き孔除く）  
運転音 : 33dB以下  
設置場所 : 屋外・屋側・屋内、直射日光が当たらないこと  
質量 : 約35kg（取付板、保護ガードを含む）  
強度 : 商品仕様書、施工説明書の固定方法に基づき耐震計算を実施し  
取付方法を選定すること

3. 4 蓄電池用コンバータ

蓄電池入出力

入力電圧範囲 : DC89.6～112V  
入出力定格電力 : 3.0kW（充電時） 3.3kW（放電時）  
入出力最大電流 : 35.0A（充電時） 35.0A（放電時）

DCバス入出力

入力電圧範囲 : DC0～450V

その他

使用周囲温度 : -20℃～+50℃  
保護等級 : IP55（配線部及び水抜き孔除く）  
運転音 : 33dB以下  
設置場所 : 屋外・屋側・屋内、直射日光が当たらないこと  
質量 : 約20kg（取付板、保護ガードを含む）  
強度 : 商品仕様書、施工説明書の固定方法に基づき耐震計算を実施し  
取付方法を選択すること

3. 5 リチウムイオン蓄電池ユニット

定格容量 : 6.3kWh  
使用周囲温度 : -10℃～+40℃  
設置場所 : 屋外・屋側・屋内、直射日光が当たらないこと  
質量 : 約85kg  
強度 : 商品仕様書、施工説明書の固定方法に基づき耐震計算を実施し  
取付方法を選択すること

3. 6 ネットリモン

動作電圧 : DC12V（パワーステーションより給電）  
消費電力 : 待機時1.5W以下、動作時2W以下  
通信機能 : 有線LAN 100BASE-TX, 10BASE-T  
無線LAN IEEE802.11b/g/n  
シリアル通信 RS-485  
使用周囲温度 : -20℃～+50℃  
設置場所 : 屋内壁面  
質量 : 約310g

3. 7 電力切替ユニット（30Aタイプ・特定負荷ブレーカ付）単相3線用

定格電圧 : 単相3線 AC100/200V 50/60Hz  
定格電流 : 30A  
設置場所 : 屋内壁面  
質量 : 約9.6kg

3. 8 小型計測装置

使用機器 : DataCube4、他一式  
設置場所 : 屋内

3. 9 表示装置

種類 : 液晶モニタ  
画面サイズ : 43型  
アスペクト比 : 16:9  
電源 : AC100V  
外形寸法 : 別途図面参照  
設置場所 : 屋内壁面  
表示内容例 : 発電電力、発電電力量等

3. 10 気象信号変換器箱

定格入力電圧 : AC100/200V  
気温計用 : 抵抗/電流変換  
日射計用 : 電圧/電流変換  
外形寸法 : 別途図面を参照  
設置場所 : 屋外  
周囲条件 : 周囲温度 -10℃～40℃

3. 11 日射計

対象 : 傾斜面日射量  
計測精度 : ISO 9060 Second Class 相当とする。  
外形寸法 : 別途図面を参照  
設置場所 : 屋外

3. 12 気温計

種類 : ラジエーションシールド付き気温計  
測定素子 : シース型Pt100Ω 4線式  
JIS C1604-2013（A級）  
外形寸法 : 別途図面を参照  
設置場所 : 太陽電池架台近辺に設置

4. 工事範囲

4. 1 機器据付工事

- (1) 太陽電池組立取付工事
  - (2) 納入機器取付工事
- ※架台に設置されない機器の取付は電気工事

4. 2 電気工事他

- (1) 受電盤までの配管配線工事<連系点から引込開閉器盤間>（電気工事）
  - (2) 計測信号配線工事（電気工事）
  - (3) 基礎工事（建築工事）
  - (4) 接地工事（電気工事）
- ※太陽電池モジュール間配線以外の全ての配線工事は電気工事とする。

5. 試運転・完成検査

5. 1 モジュール出力検査

- (1) 各モジュールの試験成績表の出力値がJISに適合していること。
- (2) 出力の合計値が3.1に示す容量の合計値以上であること。

- 5. 2 下表4の項目については試運転・検査・測定を行うこと。  
ただし、太陽電池の工場立会検査は実施しない。

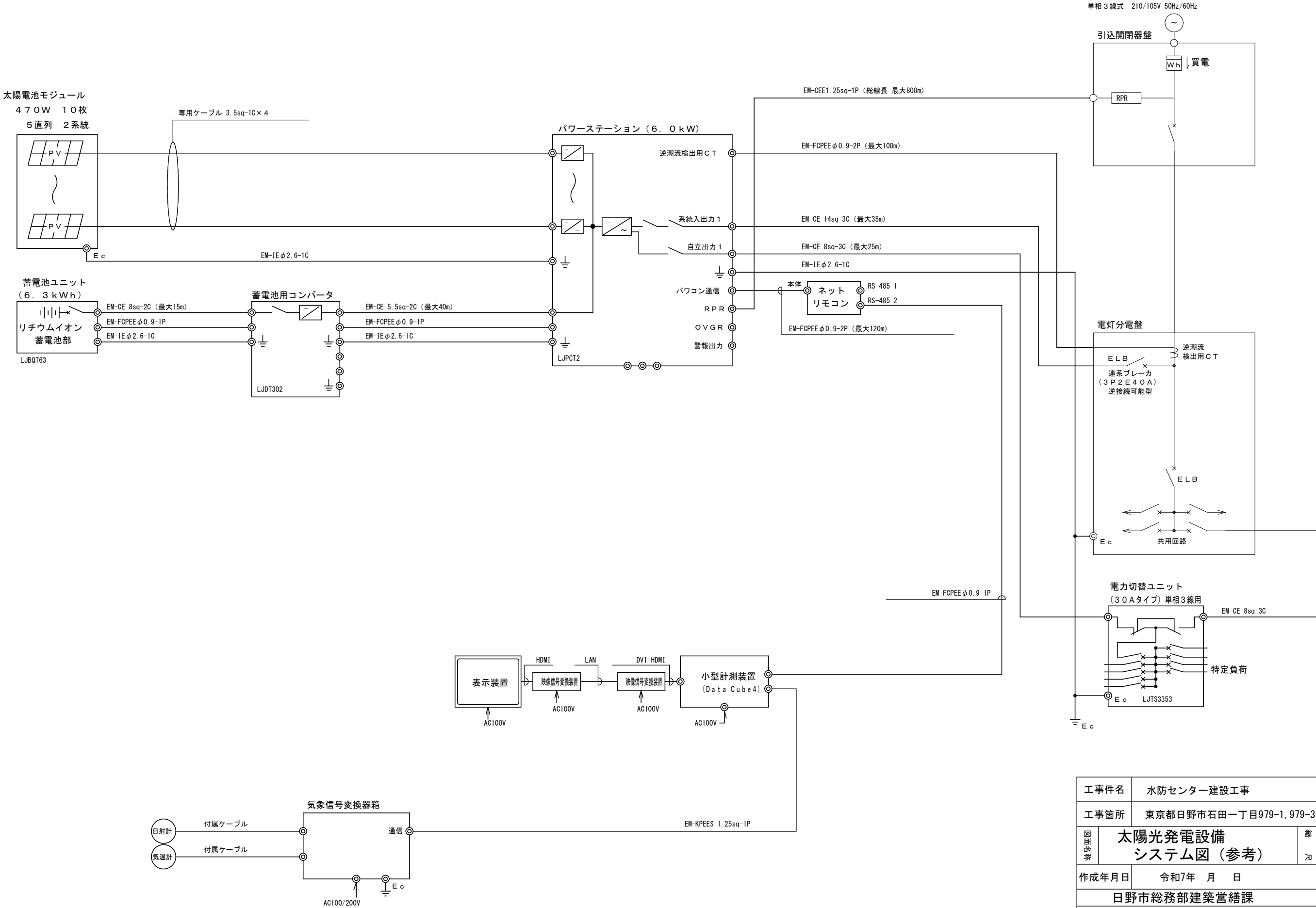
表-4

項目	機器	太陽電池	パワーステーション 蓄電池内蔵	配線ケーブル	計測システム
外観検査		○	○	○	○
絶縁抵抗測定		○ 注1	○ 注1	○	
絶縁耐圧		○ 注1	○ 注1		
保護装置特性			○ 注1		
システム動作			○		○
出力測定		○ 注1	○ 注1		

注1）現地検査又は工場検査のいずれかで可。

工事件名		水防センター建設工事		
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部		
図面名称	太陽光発電設備 特記仕様書（参考）		番 号	NO SCALE
作成年月日		令和7年 月 日		図面番号
日野市総務部建築営繕課				E-07
株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 （東京都知事登録第58345号）				
一級建築士第214974号 杉浦友哉				

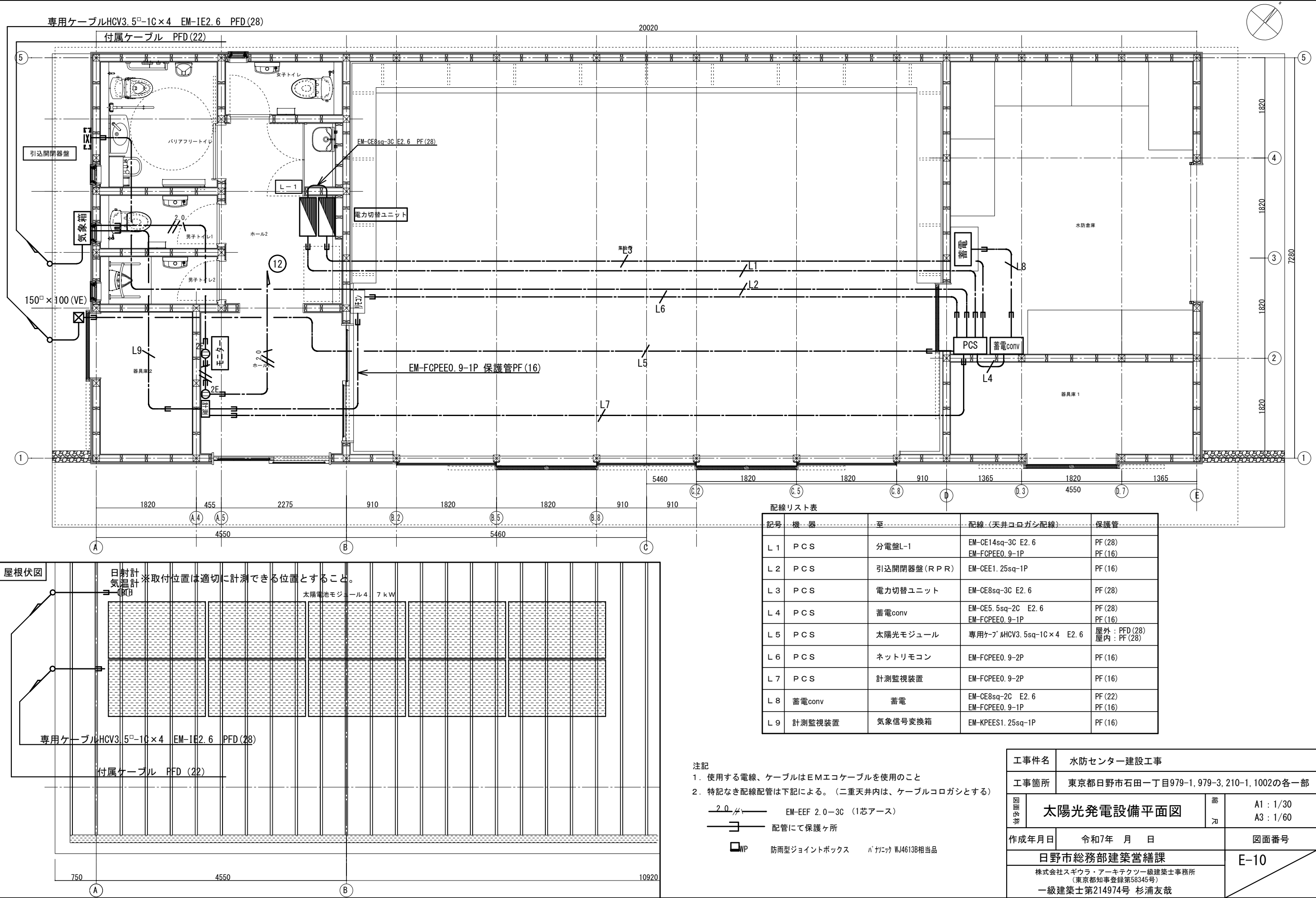
注記)  
この図面は参考図とする。各製作者により異なるものとなっても、機能を十分に満足できるならば差支えない。尚、詳細は承諾図によるものとする。



工事件名		水防センター建設工事		
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部		
図面内容	太陽光発電設備 システム図（参考）		識別 記号	NO SCALE
作成年月日		令和7年 月 日		図面番号
日野市総務部建築営繕課				E-08
株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 （東京都知事登録第58345号）				
一級建築士第214974号 杉浦友哉				







配線リスト表				
記号	機 器	至	配線（天井コロガシ配線）	保護管
L 1	P C S	分電盤L-1	EM-CE14sq-3C E2.6 EM-FCPEEO.9-1P	PF (28) PF (16)
L 2	P C S	引込開閉器盤（R P R）	EM-CEE1.25sq-1P	PF (16)
L 3	P C S	電力切替ユニット	EM-CE8sq-3C E2.6	PF (28)
L 4	P C S	蓄電conv	EM-CE5.5sq-2C E2.6 EM-FCPEEO.9-1P	PF (28) PF (16)
L 5	P C S	太陽光モジュール	専用ケーブルHCV3.5sq-1C×4 E2.6	屋外：PFD (28) 屋内：PF (28)
L 6	P C S	ネットリモコン	EM-FCPEEO.9-2P	PF (16)
L 7	P C S	計測監視装置	EM-FCPEEO.9-2P	PF (16)
L 8	蓄電conv	蓄電	EM-CE8sq-2C E2.6 EM-FCPEEO.9-1P	PF (22) PF (16)
L 9	計測監視装置	気象信号変換箱	EM-KPEES1.25sq-1P	PF (16)

- 注記
- 使用する電線、ケーブルはEMエコケーブルを使用のこと
  - 特記なき配線配管は下記による。（二重天井内は、ケーブルコロガシとする）

2.0mm EM-EEF 2.0-3C （1芯アース）  
配管にて保護  
WP 防雨型ジョイントボックス パナソニック WJ4613B相当品

工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1, 979-3, 210-1, 1002の各一部	
図面名称	太陽光発電設備平面図		縮尺 A1：1/30 A3：1/60
作成年月日		令和7年 月 日	図面番号
日野市総務部建築営繕課			E-10
株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号)			
一級建築士第214974号 杉浦友哉			